



メープル街道393 紅葉フェスティバル

メープル街道393

シンボル・ツリー

カエデ科アカイタヤ種
(Acer mono ver.)

今年で3回目の開催となった「メープル街道393 紅葉フェスティバル」が、10月10日赤井川村ホテルドーム特設会場で開催されました。このイベントは、一般国道393号(通称メープル街道393)を紅葉狩りの名所にしようと、3市町村(小樽市・倶知安町・赤井川村)の観光協会が一緒になって企画したものです。

今年は、あいにくの雨の中での開催でしたが、小樽市の海産物や倶知安町・赤井川村の地元野菜の販売や、各市町村の特産品がどっさり入った「393街道鍋(1杯100円)」に、訪れた観光客は大満足の様子でした。 ※ 看板を正面から見ると、シンボル・ツリーと書かれていました。北海道に多く自生するカエデ・モミジ類の木は、呼び名の違いだけで実際に種類の区別はありません。それらを英語で言うと「メープル」になります。



赤井川村のブルーベリーを使ったブルーベリーマフィン。フェスタ特別価格 1個250円→150円



今年も主役の『393街道鍋』。赤井川の豚肉、倶知安の野菜、小樽のすりみが入ったオール後志で作られた鍋。1杯100円。あまりの美味しさに、今年も2杯食べました。



初めて食べました『肉じゃがめし』1個300円



今年も参加した親子



やわらかヨ〜と書かれていたふき、竹の子、キノコの水煮。長いも、ゴボウ、にんじん、タマネギ、ニンニク。ほかにも、ワインに珍味と地元の名物が盛りだくさん。倶知安名物『ポテザンギ』も好評でした。



会場となっている赤井川村は、小さくても素晴らしい地域資源を持つことから、日本では39町村5地域の1つとして『日本で最も美しい村』連合に加盟しています。

